



# 漢方診療標準化プロジェクト 第1回 シンポジウムのお知らせ

『漢方診療標準化プロジェクト』は、国内漢方医療機関にも参加していただきながら、長年の叡智の蓄積によって確立された漢方診療を、多数のデータに基づいて可視化／標準化することを目的とするものであり、北里大学、自治医科大学、千葉大学、東海大学、富山大学、福島県立医科大学の漢方診療部門と富士通株式会社・株式会社富士通総研が共同して実践するものです。我々は日本の伝統医療である漢方診療の可視化／標準化を、漢方界全体で議論しながら進めていきたいと考えております。漢方医学の診療・研究・教育に関係する多数の皆様のご参加をお待ちしております。

(なおこのプロジェクトは、このたび北里大学がトライアル拠点として採択された文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM: 課題名『安全高品質な漢方ICTを用いた未病制御システムの研究開発』)」の一環として実践されます)

日 時 2014年4月19日(土) 15:00～17:30(14:30より受付開始)  
開催場所 北里大学薬学部コンベンションホール (東京都港区白金5-9-1)  
参加費 無料(要事前申込: [omrc-ebm@insti.kitasato-u.ac.jp](mailto:omrc-ebm@insti.kitasato-u.ac.jp)) 定員300名

お申込みは、上記アドレスまで①氏名②所属③参加人数を  
ご記入のうえ、メールにて事前申込みください。

(※ お申込みいただきました皆様の個人情報に関しましては第三者に提供、開示等一切いたしません。)

問合せ先 北里大学東洋医学総合研究所 EBMセンター  
TEL: 03-5791-6346 E-mail: [omrc-ebm@insti.kitasato-u.ac.jp](mailto:omrc-ebm@insti.kitasato-u.ac.jp)

## プログラム

1. 挨拶: 花輪壽彦 (北里大学東洋医学総合研究所 所長)
2. 概要説明: 小田口 浩 (北里大学東洋医学総合研究所 副所長)
3. センサー開発: 川鍋伊晃 (北里大学東洋医学総合研究所 医員)
4. ロジック説明: 石毛達也 (北里大学東洋医学総合研究所 医員)
5. ICTの貢献: 宍 暁宇 (富士通株式会社)
6. 今後の予定・意見交換

